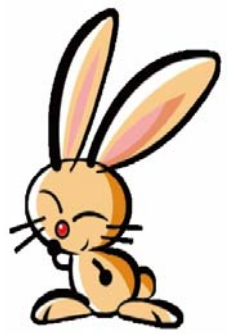




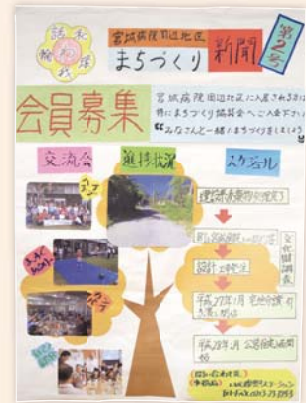
# 宮城病院周辺地区 まちづくりニュース



第16号 H26.10.1 発行

## お待たせしました。壁新聞第2号完成！

いよいよ壁新聞「まちづくり新聞」第2号の完成です！今年2月に第1号を貼り出したとき、「見たよ」「友人に見せるから壁新聞のコピーをちょうだい」「次号はいつ？」など、多くの方に声をかけていただきました。今回も役員一同、皆さんに見ていただきたいという思いを込めて作成しました。どうぞお楽しみに！



▼ 実物をぜひご覧下さい

### 掲示予定場所

各仮設住宅集会所、合戦原地区内掲示板、太陽ニュータウン掲示板、山元町役場、坂元公民館、中央公民館、宮城病院、工房地球村、みやま荘ほか

### 私が思う、地名の由来

#### 製鉄や焼き物で繁栄 一方で、いざこざも!?

製鉄に用いたであろう窯の跡や、鉄をとったくず(かなご)が見つかる合戦原地区。陶器窯跡や製鉄をするためコークスの代用として炭を用いた炭焼き窯跡も残っています。

「ここは昔、製鉄や焼き物で栄えた所。商いや物流に繁栄した重要な土地でしたが、関東圏と合戦原以北とのいざこざもあってこの地名になったのかもしれないね」



### 地域と歩んだ80年をふりかえる

合戦原区 高橋 泰治さん

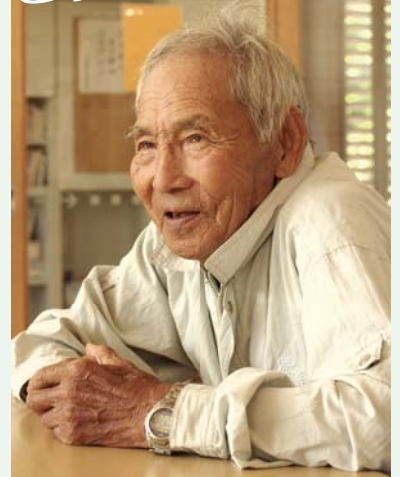
農業や狩猟、魚釣り、花作りなど毎日大忙しの高橋さん。生まれも育ちも合戦原ですが、その歴史は祖父の代にまでさかのぼります。

「祖父が新天地を求めて柴田町槻木から移り住んだのは明治40年ころ。当時は高瀬と真庭、笠野の3地区のはざまに3軒だけある集落でした」。その後、国道6号をはさみ西側に10軒、東側に11軒まで増加。「昭和13年、傷痍軍人療養所(現宮城病院)の開所。更に昭和16年ごろ国立療養所の増設と県の結核療養施設として松風園が開設されることにより、西側の民家は全部移転することになった」と笑います。

病院敷地内の大森山に祀ってあった護国神社が終戦後に現合戦原神社に移されたことや、昭和33年の宮城病院大火で合戦原消防団が活躍した話なども懐かしそうに話してくれました。

(インタビュー／橋本 憲夫)

### このまち、この人。2



たかはし たいじさん

大正15年生まれ、88歳。現合戦原福寿会会長。昭和50年から12年間合戦原区長を務めたほか、JAみやぎ亘理農業協同組合代表監事、土地改良区理事、山元町消防団副団長など要職を歴任。数多くの表彰や叙勲を受ける。

# 住んで良かったなあと思えるまちにしよう！

## ～まちづくり協議会会員大募集～

宮城病院周辺地区の新市街地は、残念ながら新山下や新坂元地区より工事が遅れています。工事が進んでいる新山下地区などを参考に活動していきます。これまで新地町の被災高齢者共同住宅、相馬市の戸建て災害公営住宅、名取市のりんくうタウンなどを視察してきました。これからは会員の希望があれば、視察や勉強会を計画します。

一生涯住むまちです。自分たちで考え、工夫して住みよいまちをつくりませんか。そのためにも、多くの入居者の方々に会員になっていただきたいです。会費などは一切ありません。興味のある方は協議会事務局や協議会役員までお問い合わせください。（会長・高橋清次）



ベンチや街灯が整備された緑道を実際に歩き、これからできるまちなみをイメージしました（名取市のりんくうタウン）

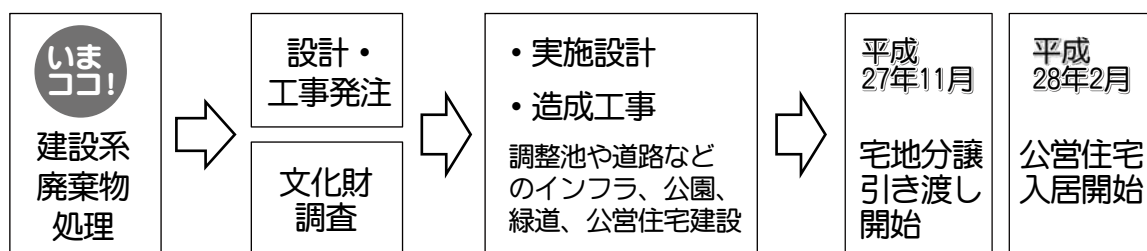


被災高齢者共同住宅の視察では、建物の外観やごみ置き場や駐車スペースを見学したほか、空室を外から見せていただきました（新地町）

これからの活動

まちなみづくり工夫集の配布、地区行事への参加、親睦会の開催、協議会の今後のあり方の検討など

## 造成スケジュールをチェック！



「散歩がてら国道6号から工事の様子を眺めるのが日課です」といった声が会員から多く寄せられている造成予定地。写真右は国道6号から撮影した新市街地の入り口部分。左は7月29日に撮影されたエリア全体の航空写真です。

# 宮城病院周辺地区まちづくり協議会

事務局 TEL・FAX 0223-23-1753 〒989-2201 山元町山寺字山下 32